

雑感

個人の成長が社会の変革につながる

孔子は自分の人生を顧みて、「吾十有五にして学に志す、三十にして立つ、四十にして惑わず、五十にして天命を知る」といい、70歳のときには「心の欲するところに従って、矩をこえず」という自由な境地に達します。今でいうと、「自己実現した人」なのでしょう。孔子が生きたのは春秋時代とよばれる乱世でしたが、その時代に比べてはるかに法も制度も整い、自由になったはずの現代社会でも、互いを敵とし、富める人も貧しい人も、果てしない欲望と、不安と恐れを心に抱いて生きています。とても孔子様のような境地にはなれそうもありません。

一人の優れた人格と能力をもったリーダーがいたとしても、なかなか社会は善いものにはならないものです。多くの人々が貧困や苦痛から解放されるためには、社会全体が善いものにならないといけないでしょう。自分が善く

なることと社会が善くなるのが別のことではなく、自分の成長が社会の成長につながるような生き方が今日求められているのです。

社会活動家の湯浅誠さんが「ヒーローを待っている世界は変わらない」と言っているように、自分の生活に関わる重要な問題を政治家や専門家に任せるのではなく、関係する人たちが自分で判断し決定する、主体的な生き方をしない限り、世の中は変わらないと思います。

目先の利益や世間の風潮に流されずに自分をコントロールしないと、人類を絶滅に追いやる核兵器や原発、ますます発達する科学技術や消費主義に人間が飲み込まれ、それに隷従するようになるでしょう（既にそうなりかかっています）。

3.11が教えてくれたのは、自分にとって社会にとって本当に必要なものは何かを考える、今が最大のチャンスだということです。（辻正矩）

こんな学校に出会いたかった!! 〽️ 箕面こどもの森学園 生徒募集 〽️

子どもたちの主体的な学びを支援するオルタナティブ・スクールです。子どもの興味関心を学習の中心にすえ、子ども自身の生活から学習を組み立てるフレネ教育の考えと方法を取り入れています。

募集人数：10名程度

対象年齢：6～11歳（小学5年生まで）

場所：箕面市小野原西6丁目15-31

見学：随時

体験入学：見学の後、学校の平常の授業を5日間体験していただきます。

入学面接：ご相談の上で日程を決めます。

問合せ先：箕面こどもの森学園

※ 見学・入学希望の方はお電話ください。



アクセス：阪急北千里駅から北へ徒歩15分

\*\*\*\*\*

《編集後記》

あれほど暑かった夏がようやく終わろうとしています。夜になると虫の音が心地よく響き、徐々に季節が秋に移りつつあることを感じます。

今季号は、4月から8月までの活動をお伝えする内容で盛り沢山です。しかし学園の活動全体からは、実は部分的な報告しかありません。音楽、美術、英語、体育、そして新しく始まった科学実験など、子どもたちが現在取り組んでいる実に豊かな内容は、紙幅の関係で学園報だけでは到底お伝えできません。どうか学園のホームページもご覧ください。

長かった夏休みも終わり、新たに2名の転入生を迎えて二学期の活動開始です。子どもたちのさらなる成長が楽しみです。

（アミ）



晴天下の手づくり体育祭

5月26日青空の下、千里北公園で体育祭を行いました。家族や知り合いの方などたくさんの方が来られました。競技は何をするのか、点数をつけるのか、どんな順番で進めるのか。子どもたちは何度も話し合いながら準備してきたので、朝からはりきってます。司会や実行委員の子たちが挨拶をして、いよいよ始まりました。

宝探しや二人三脚、つな引きにパンくい競争、それにリレー。中にはおにごっこやドッカンというユニークなゲームも。見に来た大人も子どもも一緒に走ったり、転んだり大盛り上がり！最後まで一人ひとりの子どもたちが責任を持って担当の仕事をする事ができました。友だちと協力し合っ、一つの事を成し遂げていく喜び。そして、自分たちが企画したことに、家族や知人、学校関係者などの大人が真剣に関わってくれることで得られる充足感。体育祭の楽しさとともに、そういった満足感が、子どもたちの心の糧となっていくことでしょう。（中尾）



空から蝶をよぶ場所づくり

4月から子どもたちは、蝶をよぶ場所づくりという新しいプログラムを通して、動植物と自然環境の関わりについて学んでいます。そして、人間の視線ではなく蝶の側から考えることにより、地域の自然環境を知り、自分たちの学校の庭も周囲の環境と調和するものに作っていかうとしています。まず、どんな蝶がこの地域にいるのかを調べ、グループごとに呼びたい蝶を

決め、それぞれの蝶の好きな草や木を庭に植えました。ベニシジミにはスイバ、アゲハにはカラスザンショウ、キチョウにはネムノキとサイカチ。

一学期中4回にわたって行われた学習の中で、子どもたちは千里北公園を中心に地域で見かける蝶の名前をたくさん覚えました。蝶を通して自然環境を学び、春から夏への季節の変化も感じ取ってきました。このプログラムが、人間中心の環境ではなく、蝶を始めとする多様な生き物と共存していける環境について、子どもたちが考えるきっかけになってほしいと思います。（田中）



大盛況だった夏祭り

子どもたち、スタッフが一緒に肩を組み、「夏祭り、がんばろう!」「オー!」という掛け声の下、夏祭りが始まりました。今年のお店は、缶釣り・一円玉落とし・わなげ・マリオ探し・お菓子販売・お化け屋敷などでした。缶釣りは、釣り竿で缶をつり、裏のシールの色で景品がもらえるというもの。一円玉落としとしては、水槽の底から一円玉を拾うのもお店の人の仕事。タオルで手をふきふき、がんばっていました。わなげコーナーは、高学年の二人が落ち着いてお店の担当をしていました。

マリオ探しは、昨年の卒業生が作ったものを、在校生が引き継いでの出店となりました。お菓子販売は、アレルギー対応のお菓子を販売しました。そして、恒例のお化け屋敷!! 担当した子どもたちのアイデアと力が合わさって、本格的でかなり怖いお化け屋敷になりました。

発行日：2012年9月15日
発行所：NPO法人箕面こどもの森学園
562-0032 大阪府箕面市小野原西6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail kodomomori@nifty.com
URL http://kodomono-mori.com/

夏祭り終了後のミーティング。売り上げが報告されると大きな拍手が。そして、最後にまた全員で円陣を組んで、「夏祭り、おつかれさまでした〜!」「オー!」子どもたちの顔が、とても生き生きと輝いていました。（藤田）



かずの不思議

数の不思議な性質の探求や、ものづくりを通して図形の性質を学びました。

一学期、数については「カレンダーの秘密」を探求しました。毎日つかっているカレンダーを詳しく調べてみると、実は、「エッ!」と思うような「不思議」が隠れていることをみんなで協力して発見しました。担当スタッフが想定していたことがら以外に、子どもたち（高学年）は独自に複数のことがらを発見して、その理由まで説明することができました。

図形については、クルクル（紙万華鏡）を2回にわたって全員がつくって楽しみました。一回目は「六角形型クルクル」、二回目は「七角形型クルクル」に挑戦しました。子どもたちは「楽しかった。折り線をつけるのがむずかしかった。くるくるまわっておもしろかった」「おりせんがないと、しっぱいすることがわかった」「折り目って大切だなと思った」と感想に書き、折紙作品づくりのコツをしっかりと会得していました。（松崎）



各種イベントのお知らせ（9月～12月）

〽️ オープンスクールと 無料体験入学を行います 〽️

一斉授業とも詰め込み授業とも違う、子どもたちの可能性を拓く新しい教育に触れる貴重な機会です。こどもの森の教育に関心のある方はぜひご参加ください。お子さまは授業体験もできます。

《オープンスクール》

【日時】11月10日（土）9:00～11:30
◎授業参観コース（大人対象）定員30名
◎授業体験コース（年長児～小学5年生までの方対象）定員15名

【参加費】無料（事前申し込みが必要）

《無料体験入学》

【日時】11月26日～30日の中の1日
【対象】年長児～小学5年生までの方
【定員】15名

【参加費】無料（事前申し込みが必要）

【申込期限】3日前までに電話またはFAXで、箕面こどもの森学園事務局へお申込みください。（TEL&FAX 072-735-7676）

“あなたの知らない教育がある” 《オルタナティブ教育フォーラム2012》

このフォーラムでは、今の教育とは違う、もうひとつの教育の実現化について話したいと思っています。

文部科学省で、ゆとり教育推進など教育行政の政策立案の中心者であった寺脇研さんによる基調講演や、オルタナティブスクールのスタッフによるパネルディスカッションなどがあります。また、オルタナティブスクールの展示ブースなども設けています。関心のある方はぜひご参加ください。

【日時】10月27日 13:00～17:00

【会場】ドーンセンター 大会議室

大阪市中央区大手前1-3-49

【参加費】1,000円

【主催】多様な教育を推進するネットワーク

【共催】CORE+、フリースクールみなも、箕面こどもの森学園、結空間ほか

【申込】http://kokucheese.com/event/index/51421/



テーマ作文紹介  
"学ぶかって何?"

さくら (4年)

学力は学ぶこと  
学んでなに?  
学んで自分がしらないことを  
知ったら学んでと思う。  
どこでも学ぶ。  
いつでもどこでも学ぶ。  
学力は人によって差がない。  
子どもも学ぶ、大人も学ぶ。  
いっしょう学びつづける。



がくほ (4年)

学力とはしょうらいのしんだりとく  
することかなーと思う。  
今は、勉強することがしんどいけど(す  
べての人がそうではない。勉強が好き  
な人もいる)。しょうらい楽しんだり  
とくすること(お金をもうけること、  
自由になれる)かなと思う。

あやき (6年)

ぼくが、今日のこたば共同で思ったこと  
は、勉強は将来人の役に立つ仕事につい  
て、人のためになって、自分もまわりの  
人もしあわせになることだと思いました。

「こたば共同」で「哲学」しました

今年度から、こたば共同の時間に哲学  
を始めました。6月のテーマは「学ぶか  
って何?」子どもたちが集まると、ろうそ  
くに火が灯ります。これが哲学の時間が  
始まる合図です。スタッフはいくつかの  
質問をして、子どもたちの声を聴くこと  
に集中します。

高学年のクラスでは、こんな話し合い  
が展開しました。  
「学んで何だろう?」  
「う〜ん…何かを勉強すること。国語と  
か、人生とか、それにお金のやりとり」  
「歩いたり、電車に乗ってるときも学ん  
でるで」

「人が何をしたら喜ぶかとか、悲しむか  
とかも学んでる」  
「じゃあ、なぜ学ぶの?」  
「おとなになって苦労しないため、好き  
なことができるため」  
「話し合いは、人と関わるため」

さて、話し合いの後に作文を書いても  
らいました。作品紹介の欄にいくつか掲  
載していますので、ご覧ください。子ど  
もたち、すごいです。子どもたちは学ぶ  
ということの本質をよく理解しているの  
だと、今回の哲学の時間を通して教えて  
もらいました。(守安)

プロジェクト紹介

スカート

なつえ (1年)

どうしてつくったかという、さくら  
ちゃんのスカートをみてつくってみたい  
なとおもいました。つくりかたのせつめい  
をします。まず、きれをえらびます。つぎ  
にきれをきります。つぎはミシンでぬい  
ます。つぎはゴムをいれます。それででき  
あがりです。



つくったかんそう  
は、ミシンでぬうとき  
ははじめてでむずかし  
かったです。ミシンで  
ぬったので、すぐでき  
てうれしかったです。

シルバニアのいえ

ほのか (2年)

シルバニアのいえを2つもっているけ  
ど、もうひとついるかなとおもって、つ  
くりました。たのしかったことは、ブラ  
ンコのひもをつけるときです。おもしろ  
かったときは、キッチンのじゃぐちをひ  
ねるようにしたときです。じょうずに  
できたところは、やねをつけたところ  
と、2だんベッドのまん中に、木を入れて  
しまったところで  
す。くふうした  
のは、やねのてっ  
ぺんに木をさは  
んだことです。



はり山

ちひろ (2年)

ゆったりゆうは自分のはり山がなかつた  
からです。作り方のせつめいをします。ま  
ずししゅうをします。それからクッション  
のぬのをえらびます。ちょっとだけあけて  
ミシンでそれいがいはぬいます。ちょっ  
とだけあけたところにわたをいれます。それ  
からししゅうのチャコペンをけします。か  
わいたあと手ぬいでクッションとししゅう  
のやつをくっつけてできあがりです。

むずかしかった  
ところは、かどを  
ぬうところです。  
もうすこしよくし  
たらいいかと思う  
ところは、もうちょっとししゅうをまん  
なかにしようとおもいました。



卒業生からのメッセージ

在校生のみなさんへ

守安悠 (2008年度卒業生)

みなさんはとても素晴らしい境遇の中にい  
ると思います。なぜなら、この学校では自分  
が興味を持ったことに挑戦することができる  
からです。でも自分がやりたいことも大切  
ですが、みなさんは必ずと言っていいほど中  
学校に行き、高校に行くでしょうから、みな  
さんは必ず勉強をします。

みなさんはあまり勉強が好きではないかも  
しれませんし、そうではないかもしれませんが、  
まずは自分がやってみたい科目から始め  
たり、本を読むことから始めたらいいと思  
います。好きな科目なら俄然やる気もです  
し、なお吸収が早いです。本を読むなら最  
初は簡単な本を読んで、慣れてきたら字  
だけの本を読んだらいいと思います。

しかし中学になると自分が嫌な科目でも  
絶対にやらなければいけないのです。それ  
に慣れるためにもあまり興味もないこと  
でもやってみる価値はあると思います。

最後に、みなさんはこの環境をうまく利  
用して自分にどんどん力を身につけて欲  
しいです。

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 (4月~8月)

こどもの森エコスクール報告  
(4月~8月)

今年4月より「森のようちえん」を「こ  
どもの森エコスクール」と改称し、自然のな  
かであそぶ体験に加え、にじみ絵やクラフト  
などのワークショップを行っています。「エコ  
」には、省エネとリサイクルという意味があ  
りますが、エコスクールでは「自分のペース  
で生活をつくる」をテーマにしています。

にじみ絵は、乾くまでどどんにじみ続け  
ます。また、クラフトや自然のなかであそ  
びも、そのときどきで変化しながら自分の  
目的へと進んでいきます。ゴールではなく  
過程、生活そのものを楽しめる環境を皆で  
つくっていきたくと思っています。

4月にはにじみ絵とクラフト、6月にはにじみ  
絵と千里北公園散歩、8月は箕面川へ出  
かけました。今後は毎月の活動となり、偶  
数月はにじみ絵を取り入れたこどもの森  
学園での活動、奇数月は「森のようちえ  
ん」同様、自然のなかであそびを行うこ  
とになりました。9月は能勢町へ芋ほり  
に出かける予定です。(西川)



ファンドレイジング・マラソンに  
参加しています

みのお市民活動センター主催の寄付金  
を集めるためのプロジェクト「ファン  
ドレイジング・マラソン」に参加して  
います。7月から10月までの4ヶ月間、  
こどもの森は8万円を目標にがんば  
っています。また、「ジャストギ  
ビング」という寄付サイトに登録しま  
した。世の中を変えたい個人が、支  
援したいNPOへの寄付を集めるこ  
とができるというものです。ぜひ一  
度サイト <http://justgiving.jp/npo/744>  
をご覧ください。寄付は、私たち  
市民が社会をよりよく変えていく  
ための方法の一つです。子ども  
たちの未来のためにできるこ  
とから始めましょう!(守安)

夏季セミナー2012  
哲学キャンプ in こどもの森

8月11・12日の2日間、哲学キャンプ  
を開催しました。こどもの森の内外の参加  
者が集まり、泊まって・語り明かして・つ  
ながろう!という企画。「哲学」と言  
うとなにか面白いイメージですが、難  
しいものではありません。グループに分  
かれて各テーマについて語り合  
うのです。大事なことは「当たり前を  
疑ってみる」「なぜ?本当にそう?と  
自分に問いかける」「問うことを面白  
がる」こと。

まずは各テーマ「今はどういう時代  
なのか」(嚴敏俊さん:コリア国際学  
園校長)、「人間の成長とは」(辻正  
矩さん:箕面こどもの森学園長)、「  
たて糸とよこ糸の数学論」(松崎雅  
夫さん:数学教育協議会会員)につ  
いて話題提供をもらい、後半はグル  
ープで各テーマをじっくり哲学する  
時間。哲学した後は、こどもの森特  
製のタイカレーを食べながらおしゃ  
べりし、夜遅くまで盛り上がりまし  
た。中学1年生や70歳の方、広島  
や名古屋など遠方からも参加者が  
ありました。初対面の人もすぐ打ち  
解けて、深い話を聴き合い、考え  
た、とても充実した2日間でした。

「問う」ということは人生におい  
て、社会において何かを創り出すき  
っかけになります。これからは様  
々な人とつながり、ともに「哲学」  
していけたらと思います。(中尾)



こどもの森講座第2回  
~自由作文を書こう~

6月30日(土)こどもの森講座第2回  
「自由作文を書こう」を行いました。小  
学校や幼稚園の先生、学生さんなど  
8名の方が参加されました。自己  
紹介の後、フレネ学校のスライドを  
見て、「自由作文とは何か」「それ  
ぞれの現場で実践するとしたらど  
ういう方法があるか」について話  
をしました。質疑応答の後、参加  
者の方に実際に自由作文を書いて交  
流し

てもらいました。日ごろの職場での  
悩み、教育への思い、この日感じ  
たことを詩に表現したもの、いろ  
んな自由作文がありました。参加  
されたみなさんが、「伝え合うこ  
と・聴き合うこと=対話すること」  
の大切さを実感されていました。  
(藤田)

2012年度会員研修会報告

7月21日に毎年恒例の会員研修会  
が行われました。第1部は、藤田校  
長のお話。「子どもたちは人とつ  
ながって社会を創る人に育ってほ  
しい」と日頃の取り組みを考え、  
子どもたちとスタッフで学校を創  
っていく。そのために、学習やプ  
ロジェクトを計画し、実行し、振  
り返る」を積み重ねていく中に学  
びがある。また、友だちと行事を  
計画し、実行する中で、議論し  
て、お互いの考えを知り、納得  
できる場所を探っていく。」わた  
したち大人も、そうありたいと思  
います。



第2部は「こどもの森で学んで何?」  
というテーマで哲学カフェをしま  
した。話し合いの中から、自律、  
責任、引き受ける、認められる、  
人生を切り開いていくことなど、  
キーワードが出てきました。学  
び続けながら、行動していくとい  
うことでしょうか。哲学カフェ  
の後、懇親会に移り、おいしい焼  
肉に舌鼓を打ちながら、話に花  
を咲かせました。(北出)

NPO 法人箕面こどもの森学園の  
活動にご支援を!

箕面こどもの森学園のさらなる発展  
のために、ご支援いただける方は、  
次のいずれかの方法でご協力を  
お願いします。

- ◆正会員になる (年会費 6,000 円)
  - ◆賛助会員になる (年会費 3,000 円)
  - ◆資金・資材を寄付する
  - ◆情報・労力を提供する
- 振込先: 加入者 NPO 法人箕面こどもの森学園  
〈郵便払込〉00980-7-232403  
〈郵便口座振込〉14020-68190721  
〈銀行振込〉  
ゆうちょ銀行四〇八支店(普) 6819072  
池田泉州銀行小野原支店(普) 72258  
※会員になられる方には入会申込書と  
払込用紙をお送りしますので、下記  
にご連絡ください。  
TEL&FAX 072-735-7676  
URL [kodomomori@nifty.com](mailto:kodomomori@nifty.com)